



# 勝浦ロータリークラブ

## 50期 THE WEEKLY REPORTS

2012 - 2013年度

No. 10 / Total 2342  
 例会：2012年9月28日  
 発行：2012年10月5日

RI 会長	田中 作次
第2790地区ガバナー	得居 仁
第5分区ガバナー補佐	古市 一雄
第5分区幹事	島田 誠一
第2790地区地区委員 ロータリー財団委員会	関 一憲
勝浦RC	
新世代奉仕委員会	羽鳥 鋭一
鴨川RC	
勝浦ロータリークラブ 会 長	古川 範男
幹 事	中村 満
クラブ会報委員長	小林 悠紀
副委員長	渡邊 ヒロ子
委 員	渡邊 昌俊
	関 一憲

### ◆9月28日(金)のプログラム

#### ・ゲスト卓話

勝浦整形外科クリニック  
 院長 有馬三郎氏

### ◆10月の例会予定

#### 【職業奉仕月間・米山月間】

・10月 5日(金) ゲスト卓話  
 米山奨学生 ゴンザレス氏

・10月12日(金)  
 クラブフォーラム：職業奉仕委員会  
 会員卓話：小島幸雄会員

・10月19日(金)  
 地区大会21日(日)に振替

・10月26日(金) ゲスト卓話  
 50周年記念例会  
 ホテルブルーベリーヒル勝浦

### ●会長挨拶 古川範男会長



すっかり秋めいてまいりましたが、秋になりますと、旨いものが食べたいとか、旅行をしたいとか、いろいろと動きたくなってきます。ロータリーもいよいよ活動が本格化してくるのではないかと期待しております。しかし、半面、心のなかにぽっかり穴が開いたようになって、妙に切なくなったり、「人生」や「生と死」について考えたり、本を読みたくなったりするのも、この季節の特徴ではないかと思えます。先週は渡辺光一会員の御子息の葬儀を機に「形而上学的に死は存在しない」ということについて話しましたが、今日の話題もそれに近いかも知れません。「悟り」についてであります。

私は禅宗の僧侶ということで、「悟っているんですか」とか「悟りって何ですか」「悟るにはどうしたらいいですか」などと、よく聞かれます。そういう時によく引き合いに出すのが正岡子規の言葉です。子規は35歳で夭逝した(忌日は9月19日)明治時代の天才俳人、歌人です。彼を有名にした俳句に、「柿食べば 鐘がなるなり 法隆寺」というのがあります。写実そのものですね。彼は肺結核に苦しみ、ほとんど寝たきり。毎日のように咯血を繰り返していました。そんな時、苦しみのなかで悟ったんです。

「余は今まで禅宗の所謂(いわゆる)悟りということを誤解していた。悟りということは、如何なる場合にも平気で死ぬることだと思っていたのは間違いで、如何なる場合にも平気で生きていることであつた」。

お分かりでしょうか。「今現在のここにいる自分」にトコトン打ち込んでいれば、死とか生とかはないんです。死を考えている暇などないんです。

もう一つ分かりやすい話をしましょう。室町時代の剣客、剣の達人、塚原卜伝と弟子の会話です。

弟子「先生、私は一生懸命に修業します。すると何年で免許皆伝になりますか」

卜伝「そうだな。おまえは筋が良いから一生懸命にやれば5年で免許皆伝になる」

弟子「では、死に物狂いでやれば？」

ト伝「おいおい、それじゃ一生かかっても無理だ」  
どうでしょう。理解できますか。つまり、弟子には「早く免許皆伝に」という拘(こだわり)があるんですね。この拘りがある限り、何時までたっても自由奔放な達人の世界、悟りは訪れないんです。

以下のような非常に分かり易い寓話もあります。

「昔、サトリという美しく旨そうな鳥がいました。ある時キコリが森で木を切っていると、サトリが現れました。キコリはシメタと思いました。『こいつを仕留めて今晚のおかずにしてやろう』とでも思ったのでしょう。早速サトリを捕まえようとする、サトリが言います。「おまえは今俺を捕まえようとしたな。俺にはすべてが分かる」。キコリはしまったと思いました。そこで今度は、木を一生懸命切っている振りをして、サトリの様子を伺っていました。すると、サトリが「俺には分かっているぞ。おまえは俺を騙すつもりだな」。とうとうキコリはサトリを諦めて、今度こそ無心に木を切り始めました。すると、何の拍子にか、斧が手からすっぽりと抜けて飛んで行き、サトリに当たったのです。サトリは即死してしまいました。結果としてキコリはサトリを得たのです」

これまでの話で御理解頂けたと思いますが、悟りとは、無心になること、先週も話しました「三昧(ざんまい)になることです」。心に拘りがあるとは、とても悟れません。

秋の夜長に今日の話思い出して頂き、これからの人生を、悠々と泰然自若に生きてください。

## ●幹事報告 中村満幹事

1. R財団より「未来の夢」のニュースがメールにて配信されてきました。内容等は希望者の方にメールかFAXでお知らせいたします。
2. 第5分区会長、幹事、地区委員会会議が9月25日に開催されました。協議事項は  
親善ゴルフコンペ 11/11(日)鴨川CC  
情報研究会 11/20(火)鴨川館  
IM 2/19(火)鴨川館  
時期第5分区ガバナー補佐は千倉RCの川名幸雄会員になりました。

## ●委員会報告

### ◆出席委員会 前田安彦委員長



8月の平均出席率が90%を超えましたので、記念品を出しました。

### ◆50周年実行委員会 水野敬泰実行委員長



福島の子供たち招待プロジェクトのBDをお配りしました。DVDが必要な方は各部長さんへお申し出下さい。10月26日は夜間例会にしてビデオを観賞しながら反省会、そしてこれから何をやるかを話し合いたいと思います。宜しくお願いします。

## ●ニコニコBOX

### ○結婚記念日

#### ◆山本太郎 君



自分で申告してすっかり忘れまして、すでに女房から帰ってこなくていいと言われました。お祝いを持って帰って許してもらおうと思います。

### ○自主申告

#### ◆高梨薫敏 君



今日は昨年来、お願いをしていた勝浦整形の有馬院長に来ていただきました。有難うございました。

それと、那智勝浦のレポートを会報委員長にお願いして今日の会報に掲載してもらいました。

◆渡邊ヒロ子 君



福島県立盲学校の先生でロータリアンでもある、鈴木美恵子さんからご連絡いただきまして、この前の御縁で是非という事で、来年福島に行く事になりました。盲学校へ伺って子供たちのハンドベルの演奏とコラボ出来たらいいなと思っております。

◆古川範男 君



落語名人会で集めた寄付金を、気仙沼のフカヒレの会社へ投資しているんですが、その会社が8月末に新しい工場を建て生産を始め、早速ファンドに投資した人にフカヒレスープが送られてきました。今朝くじを作ったので抽選でお配りしたいと思います。

●卓話

医療法人社団南洲会 理事長  
勝浦整形外科クリニック 院長  
有馬 三郎 氏



みなさんこんにちは。私は昭和33年に鹿児島県の鹿屋市(かのやし)という所に生まれました。鹿児島出身ではございますが、勝浦に御縁があり15年前に勝浦整形外科を開業させていただきました。正式名称は医療法人社団南洲会と申します。

開業してたかだか15年ですので、これで勝浦市民の仲間入りをさせていただいたとは思っておりません。やっぱり150年くらい住まないとな勝浦人とは言えないのではないかと思います。それくらい勝浦市という恵まれた自然・地形・長い歴史…松部には縄文人が住んでいた事も存じ上げております。古くから人が住み黒潮の文化を育てられた、そういった地のこのような場でお話をさせて頂き、改めて御礼申し上げます。宜しくお願ひ致します。わたくし整形外科医ですので、それにちなんだ話とも思いましたが、もっと根幹をなす細胞やDNAである、個人個人を形成する“背骨”のお話をしたいと思います。

～江戸時代中期に、幕命により薩摩藩が行った木曾川の治水工事(宝暦治水)に絡み、工事中薩摩藩士約50名が抗議の切腹をし、約30名が赤痢により病死、工事完了後に総指揮の家老平田靱負(ひらたゆきえ)が責任をとって自害した出来事を交えてお話をいただきました。当初嫌がらせともいえるこの工事に幕府と一戦交えるべきとの強硬論も出たそうですが、わずかな生き残りの道をかけて工事を請け負ったそうです。このような出来事を小学校時代に学んだことが有馬先生の根幹を成す“背骨”が形成される出来事になったという事を感じました。～

ことほど左様に“背骨”というのは大事だと思います。中学校の時は部活でもよい、子供の時に何か一つ人に負けないもの、自信をもってやれるものを遅くとも20歳くらいまでには持ってほしいと思います。リーダー＝上に立つ人は、それを絶対にやらないとリーダーたり得ないというのが私の持論です。勝浦は人口が減っていますが“背骨”がしっかりした人が多く集まればよいのではないのでしょうか。背骨のないリーダーがたくさん集まってもその町は多分長続きしないと思います。本日はご静聴ありがとうございました。

出席報告 9月28日(金)

出席委員会 前田安彦委員長

会員	出席	MU	欠席	出席率
35名	27名	5名	3名	91.43%